

これまでにありそうでなかった、  
日本と世界の4,000の個々の河川・湖沼を解説する  
川の完全リファレンス、ついに刊行!

# 全世界の 河川事典

—日本3,000、世界1,000—

〔編集委員長〕

高橋 裕 東京大学名誉教授

〔副編集委員長〕

寶 馨 京都大学防災研究所：教授／野々村 邦夫 日本地図センター：理事長／春山 成子 三重大学大学院生物資源学研究所：教授

A5・1,040頁 定価25,200円(本体24,000円) ISBN978-4-621-08578-3

日本(3,000件)と世界(1,000件)の河川・湖沼、放水路・運河・疏水・用水を個別に取り上げて解説する、これまでありそうでなかった河川の一大リファレンス。それぞれの河川の基礎データ(長さ、流域面積、流路など)はもちろん、洪水・水害、河川史、流域の特徴、歴史、行事までを収録。充実した河川地図を巻末に掲載するなど資料的価値の高い事典です。

丸善出版

河川情報も国際化の時代を迎えつつある。海外ニュースでも河川名がマスメディアに登場することが多くなった。災害、ダム問題、水不足にからむ国際河川紛争、さらに気候変動による大型台風の襲来と局的豪雨による突発的洪水、海面上昇による河川下流部や沿岸部の侵食、都市化および工業化に伴う河川水質の悪化、ダムをはじめとする大規模な河川事業による生態系破壊など、全世界の河川は、特に20世紀後半から有史以来の変化に見舞われている。こうした状況に伴い、さまざまな話題が飛び交っているが、これらの話題を河川とその流域から視る目が必要となっている。すなわち、河川の基本情報と20世紀後半以降の歴史を確認することが必須となってきた。

本書『全世界の河川事典』は2009(平成21)年1月に丸善(株)から出版された『川の百科事典』の姉妹編に相当するが、本事典は個々の河川・湖沼、および放水路・運河・疏水・用水に限定して採録し、それぞれの基本情報と特徴を解説することとした。採録数は日本から約3,000、全世界から満遍なく約1,000を選んだ。わが国は面積当たり河川数の特に多い国であるが、全世界となると無数であり、4,000を選ぶのは予想以上に大変であった。

世界には、各国別または各六大州別の河川事典に類する文献も一部出版されてはいるが、本書のように、自国の河川に比重を置きながらも、全世界の著名河川について詳しい解説を付けた事典は、おそらく本事典が初めてであろう。

掲載した約4,000河川について、河川水文学もしくは河川地理学上、鍵となる長さ、流域面積、流路の位置は明記し、流量、重要な洪水および水害、水利用、河川史、さらには流域の名所・行事などについても極力触れた。

流路の図や水系図は一部の河川では示したが、すべての河川で示すことはできないので、巻末に河川地図を掲げた。この地図にほとんどすべての採録河川の流路が載っている。縮尺の統一、河川名はもとより都市名の地図上での表記など、必ずしも容易ではなかったが、このような点に意を用いた。詳細な河川地図は出版物としては珍しく、貴重な成果であろうと考えている。

2013年 麦秋

編集委員を代表して 高橋 裕

## 編集委員一覧 (2013年6月現在、五十音順)

[編集委員長] 高橋 裕 東京大学名誉教授

[副編集委員長] 寶 馨 京都大学防災研究所

野々村邦夫 一般財団法人日本地図センター

春山 成子 三重大学大学院生物資源学研究所

[編集委員] 浅枝 隆 埼玉大学大学院理工学研究科

泉 典洋 北海道大学大学院工学研究院

大森 博雄 東京大学名誉教授

風間 聡 東北大学大学院工学研究科

河原 能久 広島大学大学院工学研究院

島谷 幸宏 九州大学大学院工学研究院

清水 義彦 群馬大学大学院工学研究科

辻本 哲郎 名古屋大学大学院工学研究科

手塚 章 筑波大学名誉教授

戸田 祐嗣 名古屋大学大学院工学研究科

松田 磐余 関東学院大学名誉教授

- 日本の河川・湖沼(北海道から沖縄まで北から南へ都道府県別に五十音順に河川を配列)
- 世界の河川・湖沼(アジアからオセアニアまで州ごとに国を五十音順に並び、国ごとに河川を五十音順に配列)
- 複数の県や国を流れる河川は、河口の県、国または流域のほとんどを占める県、国で解説
- 大河川は詳細に解説 ●ネットでは分からない中小河川も多数収録
- 付録:河川年表,河川ランキング(長さ順,流域面積順),湖沼ランキング(面積順),水質ランキング,ダムランキング,同名河川,用語解説
- 採録河川のすべての位置,水系がわかる河川地図(60図) ●和文・欧文索引

エプト川 [l' Epte(仏)]

長さ 117 km, 流域面積 872 km<sup>2</sup>。セヌ川水系。ノルマンディー地方北東部に源を發し南に流れ、セヌ川に注ぐ。911年のサン=クレール・シュール・エプト条約締結以来、ノルマンディー地方とイル・ド・フランス地方の境界をなす。最下流部に、画家モネの家のあるジヴェルニーがある。

[佐川 美加]

オルヌ川 [l' Orne(仏)]⇒ ロット川  
オルヌ川 [l' Aulne(仏)]

長さ 140 km, 流域面積 1,875 km<sup>2</sup>。ブルターニュ地方西部に源を發し西に流れ、プレスト鐘地(湾)に注ぐ。流域が難透水性の地層の上に広がっているため、降雨量がすぐに流量に反映される。平均流量は 20 m<sup>3</sup>/s であるが、大旱ばつ年には 1 m<sup>3</sup>/s 未満、最大級の洪水時には 500 m<sup>3</sup>/s に達する。

[佐川 美加]

オワーズ川 [l' Oise(仏)]

長さ 330 km (14 km がベルギー領内)、流域面積 16,667 km<sup>2</sup> (76 km<sup>2</sup> がベルギー領内)。セヌ川水系。ベルギー南部に源を發し、フランスのピカルディー地方、イル・ド・フランス地方を南西に流れ、パリの下流 70 km の地点でセヌ川に注ぐ国際河川。流域には画家ゴッホ終焉の地、オーヴェール・シュール・オワーズがある。

[佐川 美加]

ガルタンブ川 [la Gartempe(仏)]

長さ 190 km, 流域面積 3,922 km<sup>2</sup>。ロワール川水系。リムーザン地方北部に源を發し西に流れ、ポワトゥー・シャラント地方東部を北に向かい、クルーズ川に注ぐ。

水源地帯はかつてガル・タンブルとよばれたテンブル騎士団の狩場で、その地名が川の名前となった。サン=サヴァンの修道院教会はユネスコ世界遺産。

[佐川 美加]

ガロンヌ川 [la Garonne(仏)]

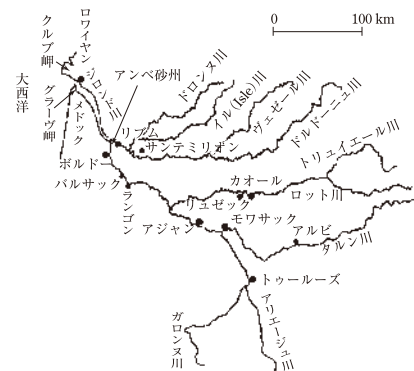
長さ 575 km (51 km がスペイン領内)、流域面積 84,811 km<sup>2</sup> (55 km<sup>2</sup> がスペイン領内)、年平均流量 630 m<sup>3</sup>/s。ピレネー山脈中央部スペイン領内に源を發し北に流れ、フランスのミディ・ピレネー地方中央部で北西に向きを変え、アキテーヌ地方で大西洋に注ぐ国際河川。おもな支川は、ドルドーニュ川、ロット川、タルン川、アリエージュ川。

最大支川のドルドーニュ川との合流点から大西洋までの 75 km は、ジロンド川と名前が変わり、別の河川として扱われる。山地から平野に出て谷幅が広がる中流域では、左岸に河岸段丘が発達している。ピレネー山脈からの雪解け水によって 3~6 月に流量が多く、1875 年 6 月 22~28 日に起きた大洪水では、下流にある「フランスで最も水に浸かる町」といわれたアジャンで川の水位が 11.7 m に達し、大聖堂も 3 m の水に浸かっている。

流域における本格的な堤防建設は、20 世紀の半ばになってようやく開始された。洪水以上に問題となっているのが夏の渇水で、この時期の飲用水、工業用水、農業用水、舟運のための流量確保のために上流部に貯水池が建設された。ウナギ、アトランティックサーモンなどの回遊魚が川を遡ってくるが、砂利や砂の採掘による産卵場所の荒廃や水質の悪化によって、その数は減っている。感潮河川で、ボルドーの上流 52 km のカステ・アン・ドルトまでは潮の影響を受ける。

19 世紀半ば、この場所から上流へ 193 km にわたって、川と隣り合う「ガロンヌ川平行運河」が建設され、終点のトゥールーズで地中海へ向かうミディ運河と結ばれた。物流の大動脈となったこの運河は、南フランスに大きな経済効果をもたらした。

下流域一帯は水はけの良い砂地が広がっており、そこで育てられたブドウからボルドーワインがつくられている。アキテーヌ地方の中心都市ボルドーは、ガロンヌ川に面したワインの積み出し港として発展し、リュヌ港(旧港地区)はユネスコ



ガロンヌ川水系全国

千歳川(ちとせがわ)

石狩川水系、石狩川の支川。長さ 108 km, 流域面積 1,244 km<sup>2</sup>, 平均流量(西越地点) 18.82 m<sup>3</sup>/s, 比流量 5.13 m<sup>3</sup>/s/100 km<sup>2</sup> (1954 (昭和 29)~2004 (平成 16))。支笏湖を源とし、江別市で石狩

川に合流する。支笏湖(湖水面積 78.4 km<sup>2</sup>)は約 3 万年前に噴火したカルデラ湖で、透明度も高く、二重噴火口をもつ樽前山や恵庭岳などの火山を含め支笏洞爺国立公園となっている。上流の火山群はグリーンタフ帯に属し、中流域に至るまで洪積世~沖積世の火山および火山噴出物が覆っている。下流部は火山噴出物の上位に埋積砂礫層が発達し、さらに地表には泥炭やシルト・粘性土が分布している。

支笏湖を流れた千歳川は、峡谷を縫って千歳市街に入る。千歳川は全国有数のサケ遡上河川であり、秋には 30 万匹ものサケが遡上し多くの観光客が訪れる。サケのふるさと館がある千歳市サーモンパークでは、遡上したサケが「インディアン水車」により捕獲される様子を、水中からも観察できる。

千歳市街を抜けると低平地に入り河床勾配が 1/7,000 程度の緩やかな流れとなり、沿川に広がる広大な農地を下流する。石狩平野南部から千歳川中下流部を経て太平洋の勇払平野に至る一帯の広大な低平地は、石狩低地帯とよばれる地域である。この地域は数十万年前には海域であり、その後の海面の低下と支笏火山の噴火による大量の火山灰、火砕流などの堆積により陸化した地域である。そのため、千歳川中下流部流域には 400 km<sup>2</sup> の低平地が広がり、米作や小麦、ビート、野菜など畑作が盛んであるが、洪水時に石狩川の高い水位の影響を受け、開拓当初より水害の常襲地帯となっている。1981 (昭和 56) 年の大洪水を契機に、千歳川の洪水を太平洋に放流する「千歳川放水路計画」が策定されたが、関係者の理解を得られず、



千歳川の 1981 (昭和 56) 年洪水

# 全世界の河川事典 —日本3,000、世界1,000—

〔編集委員長〕高橋 裕 東京大学名誉教授

A5・1,040頁 定価25,200円(本体24,000円) ISBN978-4-621-08578-3

- 重要であり知名度の高い河川と判断した河川・湖沼を採録。
- 日本に関しては、一級水系109の本川のすべて、一級水系の支川や二級水系から約2,900、合計3,000を収録。
- 諸外国の河川の数は無数とさえいえるが、その中でも有名河川1000を厳選して収録。
- 湖沼に関しては、面積の大きな湖、一般によく知られている湖を選んだ。
- 掲載した約4,000河川について、長さ、流域面積、流路の位置を明記し、流量、重要な洪水および水害、水利用、河川史、さらには流域の名所・行事などについても触れる。
- 河川情報に関しては、国土地理院、国土交通省、都道府県の河川担当部門、「理科年表」、世界気象機関(WMO)とドイツ連邦水文研究所の支援による全球河川流量データセンター(GRDC)、各国政府などが公表している各種データを用いた。



## 関連書

水理学から川遊びまで川に関することなら何でも分かる

### 川の百科事典

〔編集委員長〕高橋 裕

A5・810頁 定価15,750円(本体15,000円) ISBN978-4-621-08041-2

川は古来より人間生活に深く関わっており、生活様式、食生活、さらには住民の人間性にも多大な影響を与える存在です。本書は河川工学だけではなく、地理学、生態学、環境科学、民俗学の観点からも解説しています。

〈主要目次〉

総論編：川とは何か／川と水質／世界の川／日本の川／都市と河川／川の利用／川と四大文明／川とレクリエーション／河川の科学／川の環境教育(環境教育/体験活動)／川と災害／河川生態系／地球の水循環／河川に設置される構造物／河川と地形／川づくり／川と風景／川と祭祀／川と伝説／川と芸術／川と文学

各論編：川に関する用語と固有名詞(河川、湖沼、ダム、人名など)を50音別に配列し解説する事典。収録語数訳3,500語



### 水の総合辞典

〔編集委員長〕久保田昌治

A5・650頁 定価21,000円(本体20,000円) ISBN978-4-621-08040-5

定義・概念だけの単なる用語辞典ではなく、図・表・写真を豊富に掲載し、具体例、性質、用途、問題点なども解説。理科系(理工農薬医)の用語だけでなく文系の用語も多数収載。

採録語数：約5,500語

採録分野：水処理(排水処理、用水処理(精製))、純水製造、循環使用、水質管理(水道、下水道)／基礎科学(構造、性質)／分析化学／環境(水質、生態学)／衛生学／微生物学／河川工学(河川管理、ダム、堰)／水文学／海洋学／医学／薬学／飲料(ソフトドリンク、アルコール飲料)／機能水／気象(雨、雲、霧、霜、…)／水に関する言葉(歴史、宗教、民俗、気象、生活、調理、古語、格言、ことわざ、季語)



丸善出版株式会社 〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-17 神田神保町ビル6階 営業部TEL(03)3512-3256 FAX(03)3512-3270  
<http://pub.maruzen.co.jp/>

丸善出版：発行 FAX03-3512-3270

全世界の河川事典

定価25,200円(税込)  
ISBN978-4-621-08578-3

\_\_\_\_\_冊

取扱店

\_\_\_\_\_冊

お名前

ご住所 〒

TEL

注文書

※ご注文をいただいた個人情報、書店、取次(問屋)・弊社間で商品手配(新刊情報)を目的のために利用させていただきます。